

# キュンチョメ

## 呼吸をさがす部屋

2024.10.12-2025.03.31

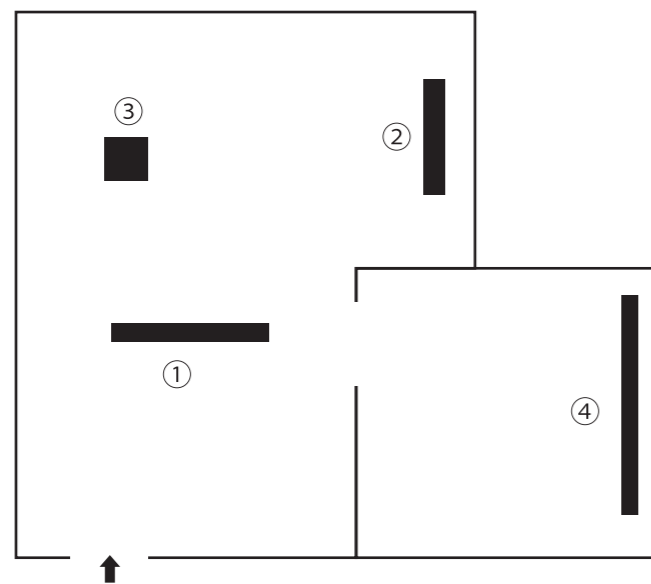
アートとは「祈り」だと思っている。

そして「祈り」というのは、何かを願うことだけではなく、世界の循環そのものが「祈り」なのではないかと思っている。生まれて、生きて、食べて、死んで、養分になる。その繰り返りでこの世界ができていて、私たちはその一部にすぎない。私たちが呼吸していることすらも循環の一部で、私たちは常に自然と繋がっていて、その一部である。でもそれを都会で実感することは、とても難しい。文明や文化は循環を切断する方向に進んできてしまった。だから、この都会の地下の小さな一室で、循環の中へと戻れる時間を作りたいと思った。

海と出会うことは自分と出会うことだ。2年ほど前から、私は時間があれば海に潜りに行くようになった。少しでも間違いがあればすぐに死んでしまう海。音がほとんど聞こえない海。そこでなによりも意識するのは自分の呼吸の音だった。植物や珊瑚の褐虫藻が作り出した酸素を吸って吐くこと。いま、生きているすべての生き物が呼吸していること。そこに私も含まれていること。そんな奇跡のような循環の音が、私の呼吸を通して聞こえてきた。

この場所が、あなたがあなたの呼吸に耳をすませる場所になることを願っている。目を閉じてくれてもかまわない。それで眠ってしまっても良い。祈りと幸せは、あなたがあなたと出会い直す瞬間からはじまる。

キュンチョメ



KYUNCHOME kyunchome@gmail.com <https://www.kyunchome.com/>

主催：港区 事務局：NPO 法人芸術公社

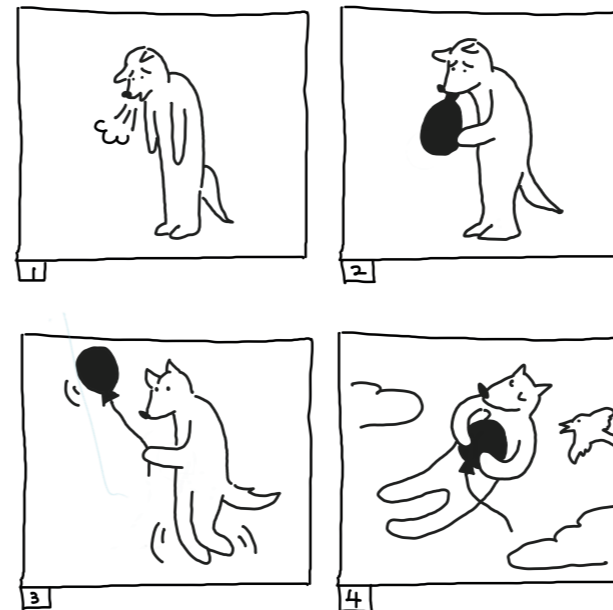


### ① ためいきでうかぶ

2022

映像 4分36秒

ため息ばかりついていたある日、沈んでいく気持ちを浮き上がらせて、ため息を風船にためていった。風船がいっぱいになったら空でも飛べるんじゃないかと思ったけれど、さすがに空は飛べなかった。だから、目の前に広がっている海に飛び込んで、ため息で浮かんでみることにした。ため息に支えられて海をぶかぶかと浮かんでいるうちに、少しずつ楽しくなって、何にため息をついていたのか全部忘れてしまった。

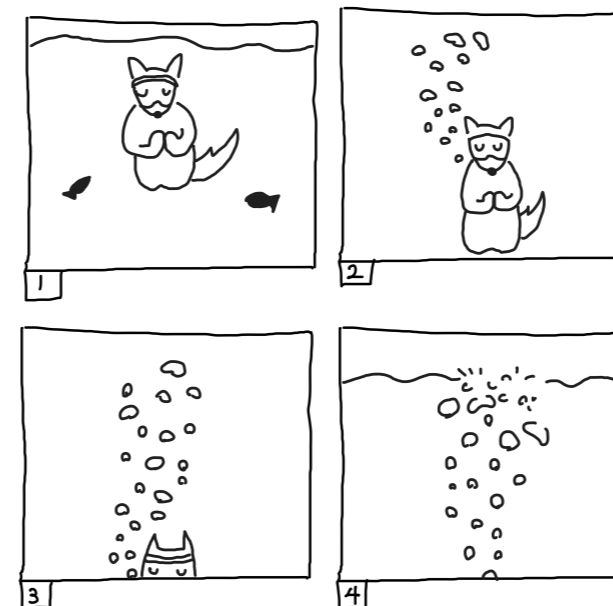


### ② 海の中に祈りを溶かす

2022-2023

映像 12分23秒

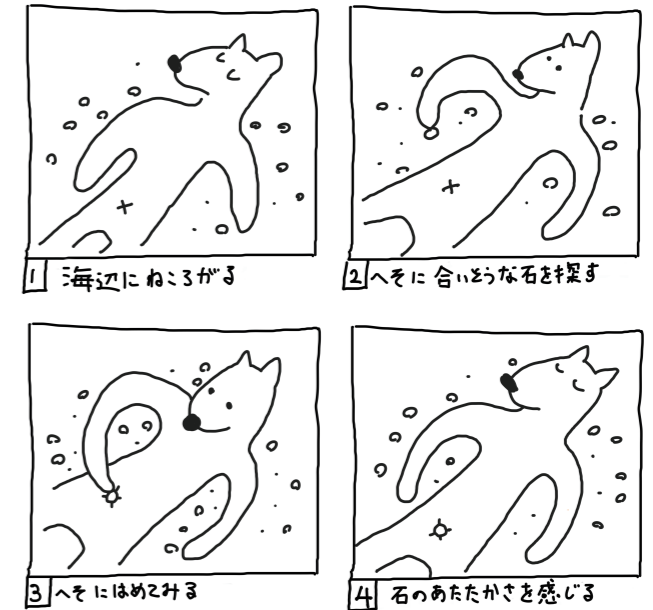
海に沈みながら、願いや祈りの言葉を何度も唱えました。声は泡になって、水面へと上昇し、祈りは海に溶けていきます。



### ③ ヘソに合う石

2023

2023年4月24日、一日中寝転がって海を見ていた。砂浜の石を手に取ると、丸くてスベスベして、心地よい感じがした。その石を拾って、なんとなくヘソにはめてみたら、ぴったりと私のヘソにはまった。一日中太陽で温められた石の暖かさが、ヘソから私に伝わってきて、不思議な気分になった。息をゆっくり吸って吐くと、ヘソにはまった石が少しずつ私の身体に馴染んでいて、なんだかこの世界とちょっとだけ特別な関係を結べたような感じがした。



### ④ 金魚と海を渡る

2022

映像 6分2秒

私も金魚も、海では生きていけないけれど、二人でなら、海を渡る気がした。

